



日本医療機器学会
認定滅菌技師/士の方には
5単位が付与されます。

3M Sterilization Forum 3M 滅菌フォーラム 2011

この度、スリーエムヘルスケア株式会社は「3M 滅菌フォーラム2011」と題したセミナーを下記日程にて開催いたします。

2010年末、日本医療機器学会の「医療現場における滅菌保証のガイドライン」が新たに改訂されました。医療施設の滅菌供給部門を取り巻く環境は、大きく変化し始めています。本フォーラムでは、「ガイドライン」、「医療機器の洗浄」、「感染予防と滅菌供給業務」、「病院機能評価」などのトピックを中心に、滅菌供給部門を取り巻く環境に焦点を当てた企画となります。滅菌供給業務をご担当の方を始め、感染管理業務や手術室業務をご担当の方など、幅広い職種の方のご参加を心よりお待ちしております。

プログラム

座長：上寺 祐之 先生

東京大学医学部附属病院 手術部/感染制御部・東京大学大学院医学系研究科 総合滅菌システム管理学

講演 1	医材の再生処理における最近の知見 ～特に軟性内視鏡、手洗浄、中性酵素系洗浄剤の矛盾など～	大阪大学医学部附属病院 材料部 伏見 了 先生
講演 2	医療現場における滅菌保証 ～ガイドラインを現場に持ち込むために必要な知識～	スリーエムヘルスケア株式会社 染谷 拓
講演 3	感染予防における中材の重要性	福岡大学病院 看護部 坂本 眞美 先生
講演 4	病院機能評価の概要 ～感染管理と滅菌業務を中心に～	日本大学医学部社会医学系 医療管理学分野 梅里 良正 先生

日時

5月21日[土] 13:00 ～ 17:00
受付開始: 12時00分～

会場

パシフィコ横浜 会議センター 501・502
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1
アクセス:
<http://www.pacifico.co.jp/visitor/accessmap.html>

参加費

2,000円 会場で頂戴いたします。

定員

500名
定員になり次第締め切らせていただきます。

お問い合わせ先

カスタマーコールセンター 市内通話料金でご利用いただけます。
0570-011-321
受付時間 8:45～17:15(土・日・祝日は除く)

お申込方法

下記ウェブサイトよりお申し込みください。または、裏面に必要事項をご記入いただき、FAX送信にてお申し込みください。



ウェブサイト

<http://www.mmm.co.jp/hc/sm/>



FAX

03-3709-8754





03-3709-8754

FAX

下記の内容をご記載の上、上記の03-3709-8754にFAXをしてください。

お名前	ご施設名	ご所属 部署名	ご住所	電話番号・FAX	滅菌技師/士
				Tel.	第一種 第二種
				Fax.	
				Tel.	第一種 第二種
				Fax.	
				Tel.	第一種 第二種
				Fax.	
				Tel.	第一種 第二種
				Fax.	
				Tel.	第一種 第二種
				Fax.	

*参加証を5月13日までに送付させていただきます。当日、ご持参ください。
 *1施設5名までの受付となります。

講演
1

医材の再生処理における最近の知見

～特に軟性内視鏡、手洗浄、中性酵素系洗浄剤の矛盾、など～

大阪大学医学部附属病院 材料部 伏見 了 先生

大阪大学医学部附属病院では気管支鏡の洗浄・消毒不良が原因と思われる多剤耐性緑膿菌によるアウトブレイクを経験した。今後の感染防止対策として、軟性内視鏡の洗浄・消毒を材料部で一括して実施しているが、その詳細と効果について述べる。中小規模の病院では手洗浄が中心であり、また、大規模病院でもマイクロ器械などは手洗浄である。そこで、手洗浄の意義をあらためて考察し、さらに、手洗浄用として多くの病院で採用している「中性酵素系洗浄剤」の矛盾を紹介し、参加の皆様と考えてみたい。

講演
2

医療現場における滅菌保証

～ガイドラインを現場に持ち込むために必要な知識～

スリーエムヘルスケア株式会社 染谷 拓

医療現場における滅菌は重要な院内感染対策の一つであり、それゆえ滅菌の質の保証は重要な課題である。医療現場において滅菌の質を管理・維持していくために実施すべき項目がまとめられている日本医療機器学会のガイドラインの改訂版が2010年12月に発表され、項目の見直しや追加が行なわれた。ガイドライン改訂に関わった立場から、医療現場が実施すべき業務とその根拠、主な改訂内容について解説する。

講演
3

感染予防における中材の重要性

福岡大学病院 看護部 坂本 眞美 先生

中材とは病院施設の規模により役割に違いはあるが、共通した役割として病院施設内での医療器具の洗浄・消毒・滅菌業務を一括して行なう部署である。院内感染発生の主たる要素として「感染宿主・病原菌・感染経路」が挙げられる。院内感染予防への取り組みとして病原菌の伝播防止に対応できる専門部署が中材であり、中材の機能を十分に活用することで感染予防策の対費用効果および効率を高めることができる。

講演
4

病院機能評価の概要

～感染管理と滅菌業務を中心に～

日本大学医学部社会医学系医療管理学分野 梅里 良正 先生

病院機能評価は、1995年に設立された財)日本医療機能評価機構が実施する第三者による病院の認定事業である。現在わが国の病院の約1/3が受審をするに至った本事業の概要並びに、この評価の中で、感染管理や滅菌業務のあるべき姿として設定されている評価項目について紹介する。また、その他近年の審査において比較的评价が低いことが多い評価項目についても概説し、わが国の病院の改善への方向性について議論する。